



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東  
コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 俊一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,429	3.6	350	△9.8	364	△6.7	236	△8.6
2023年3月期第2四半期	5,238	5.4	389	20.5	390	17.9	259	17.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 247百万円 (△11.8%) 2023年3月期第2四半期 280百万円 (23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	70.97	—
2023年3月期第2四半期	77.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,691	5,782	75.1
2023年3月期	7,486	5,672	75.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,782百万円 2023年3月期 5,672百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,550	5.5	1,000	7.6	1,020	6.1	700	1.9	209.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	3,369,000株	2023年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	25,522株	2023年3月期	32,222株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	3,338,692株	2023年3月期2Q	3,332,707株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における各種制限の緩和で景気に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、地政学的リスクの高まりや原材料価格の高騰、物価の上昇、世界的な金融引き締め等を背景に海外景気の下振れが懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは2023年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、当社グループの中核をなす翻訳事業の持続的成長を目指すとともに翻訳支援ツールや機械翻訳など最先端技術の積極的な活用を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高はコアビジネスである翻訳事業が堅調に推移したことに加え、派遣事業の復調、通訳事業の伸長もあり、前年同期比3.6%増の5,429百万円となりました。利益面は人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は前年同期比9.8%減の350百万円、経常利益は前年同期比6.7%減の364百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8.6%減の236百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 翻訳事業

特許分野では前期に引き続き主要顧客である特許事務所や企業の知的財産関連部署からの受注が好調に推移し、売上高は前年同期比8.8%増の1,447百万円となりました。医薬分野では内資製薬は複数の顧客からの受注増加により回復基調で推移したものの、外資製薬ならびに外資系CRO（医薬品開発受託機関）からの受注減少が影響し、売上高は前年同期比8.7%減の1,232百万円となりました。工業・ローライゼーション分野では自動車や機械、電気機器等を中心とする製造業の顧客からの受注拡大とスポット案件の獲得により、売上高は前年同期比8.5%増の1,088百万円となりました。金融・法務分野では上場会社の英文開示需要を背景にIR関連文書の受注が継続して推移したことに加え、企業の管理系部署からの受注増加により、売上高は前年同期比5.5%増の317百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比2.5%増の4,086百万円となりました。

#### ② 派遣事業

派遣事業においては、語学スキルの高い人材への底堅い需要により常用雇用者数が前年同期を上回る水準で推移したことから、売上高は前年同期比6.9%増の595百万円となりました。

#### ③ 通訳事業

通訳事業においては、主要顧客である金融機関、医薬品関連会社、精密・通信機器メーカー、外資コンサルティング会社からの継続的な受注に加え、精密機器メーカーから大型スポット案件を獲得したことで、売上高は前年同期比22.1%増の514百万円となりました。

#### ④ コンベンション事業

コンベンション事業においては、競合激化の影響により国際会議や各種展示会の受注が減少し、売上高は前年同期比32.6%減の58百万円となりました。

#### ⑤ その他

その他のセグメントにおいては、外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社FIPASは回復基調で推移したものの、通訳者・翻訳者養成スクール「アイ・エス・エス・インスティテュート」の受講者数の伸び悩み等が影響し、売上高は前年同期比7.7%減の175百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が増加しているためであります。固定資産は987百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円増加いたしました。これは主にのれんが増加したことによるものであります。

この結果、総資産は7,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に未払金及び未払法人税等が増加したことによるものであります。固定負債は203百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,782百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当を実施したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは426百万円の収入（前年同期は118百万円の収入）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益362百万円、売上債権の減少による収入233百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは109百万円の支出（前年同期は20百万円の支出）となりました。

主な要因は、事業譲受による支出117百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払により150百万円の支出（前年同期は133百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,133,859	4,312,851
受取手形及び売掛金 (純額)	2,172,330	1,938,471
仕掛品	150,234	266,144
その他	154,701	186,989
流動資産合計	6,611,126	6,704,457
固定資産		
有形固定資産	36,656	33,638
無形固定資産		
のれん	—	75,740
その他	46,555	38,366
無形固定資産合計	46,555	114,107
投資その他の資産	792,476	839,305
固定資産合計	875,688	987,052
資産合計	7,486,815	7,691,509
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	772,164	810,299
未払法人税等	113,490	154,363
返金負債	3,243	1,859
賞与引当金	292,532	278,787
その他	436,983	460,503
流動負債合計	1,618,413	1,705,813
固定負債		
役員退職慰労引当金	3,200	3,200
退職給付に係る負債	192,277	200,081
固定負債合計	195,477	203,281
負債合計	1,813,891	1,909,094
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	4,642,907	4,725,180
自己株式	△79,267	△62,785
株主資本合計	5,630,906	5,729,661
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,195	54,659
退職給付に係る調整累計額	△2,178	△1,906
その他の包括利益累計額合計	42,017	52,752
純資産合計	5,672,923	5,782,414
負債純資産合計	7,486,815	7,691,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,238,786	5,429,955
売上原価	2,763,826	2,874,383
売上総利益	2,474,959	2,555,572
販売費及び一般管理費	2,085,891	2,204,764
営業利益	389,068	350,807
営業外収益		
持分法による投資利益	15,400	17,675
その他	594	1,267
営業外収益合計	15,994	18,942
営業外費用		
為替差損	14,288	5,364
その他	0	0
営業外費用合計	14,288	5,364
経常利益	390,774	364,385
特別損失		
固定資産除却損	12	2,040
特別損失合計	12	2,040
税金等調整前四半期純利益	390,762	362,345
法人税等	131,418	125,368
四半期純利益	259,343	236,977
親会社株主に帰属する四半期純利益	259,343	236,977

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	259,343	236,977
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	21,107	10,463
退職給付に係る調整額	515	271
その他の包括利益合計	21,622	10,735
四半期包括利益	280,965	247,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,965	247,712
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	390,762	362,345
減価償却費	16,513	12,654
株式報酬費用	3,409	4,808
のれん償却額	—	5,867
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	735	848
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,957	△13,745
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	△8,100
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,945	8,195
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,437	△679
受取利息及び受取配当金	△18	△19
持分法による投資損益 (△は益)	△15,400	△17,675
固定資産除却損	12	2,040
売上債権の増減額 (△は増加)	164,434	233,490
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△45,118	△116,431
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,024	37,749
その他	△164,263	1,540
小計	342,508	512,887
利息及び配当金の受取額	18	19
法人税等の支払額	△224,176	△86,821
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>118,349</b>	<b>426,085</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△796	△2,284
無形固定資産の取得による支出	△5,202	△1,200
事業譲受による支出	—	△117,345
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
差入保証金の差入による支出	△11,972	△11,282
差入保証金の回収による収入	206	25,733
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△20,765</b>	<b>△109,380</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△133,243	△150,155
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△133,243</b>	<b>△150,155</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,790	9,441
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,868	175,990
現金及び現金同等物の期首残高	3,710,407	3,938,982
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,693,539	4,114,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	コンベン ション事業	計		
売上高							
翻訳							
特許	1,329,960	—	—	—	1,329,960	—	1,329,960
医薬	1,350,702	—	—	—	1,350,702	—	1,350,702
工業・ローカラ イゼーション	1,002,446	—	—	—	1,002,446	—	1,002,446
金融・法務	300,862	—	—	—	300,862	—	300,862
人材派遣	—	556,785	—	—	556,785	—	556,785
通訳	—	—	421,623	—	421,623	—	421,623
コンベンション	—	—	—	86,692	86,692	—	86,692
その他	—	—	—	—	—	189,714	189,714
顧客との契約から 生じる収益	3,983,971	556,785	421,623	86,692	5,049,072	189,714	5,238,786
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	3,983,971	556,785	421,623	86,692	5,049,072	189,714	5,238,786
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	25,482	—	32,274	—	57,757	838	58,595
計	4,009,454	556,785	453,897	86,692	5,106,829	190,552	5,297,382
セグメント利益又は 損失(△)	404,542	25,470	3,523	△16,299	417,237	△30,463	386,773

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	417,237
「その他」の区分の利益	△30,463
セグメント間取引消去	2,294
四半期連結損益計算書の営業利益	389,068

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	コンベン ション事業	計		
売上高							
翻訳							
特許	1,447,395	—	—	—	1,447,395	—	1,447,395
医薬	1,232,928	—	—	—	1,232,928	—	1,232,928
工業・ローカラ イゼーション	1,088,197	—	—	—	1,088,197	—	1,088,197
金融・法務	317,509	—	—	—	317,509	—	317,509
人材派遣	—	595,650	—	—	595,650	—	595,650
通訳	—	—	514,811	—	514,811	—	514,811
コンベンション	—	—	—	58,408	58,408	—	58,408
その他	—	—	—	—	—	175,055	175,055
顧客との契約から 生じる収益	4,086,030	595,650	514,811	58,408	5,254,900	175,055	5,429,955
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	4,086,030	595,650	514,811	58,408	5,254,900	175,055	5,429,955
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	16,877	3,304	351	—	20,533	1,448	21,981
計	4,102,907	598,954	515,162	58,408	5,275,433	176,503	5,451,937
セグメント利益又は 損失(△)	393,206	26,183	33,561	△49,945	403,005	△54,070	348,934

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	403,005
「その他」の区分の利益	△54,070
セグメント間取引消去	1,873
四半期連結損益計算書の営業利益	350,807